

## 教えてネ 地域の話

### 雄物大橋四車線化を 親子三世代の 渡り初めでお祝い

**国** が進める「秋田南バイパス（延長8.5km）」事業のうち、主要な工事の「雄物大橋II期線（長さ394m）」が完成しました。

この工事で、雄物大橋が二車線から四車線（片側二車線）に増えたことにより、通勤時間帯の交通混雑緩和が期待できます。



三世代による渡り初め。一步一步踏みしめながら歩きました



完成後の雄物大橋



やまばと太鼓の演奏



新城川通水記念式典でのテープカット



川の蛇行が解消されました（飯島地区上空から）

5月19日の「渡り初め」行事では、地元「やまばと太鼓」が力強い演奏を披露し、会場を盛り上げたほか、親・子・孫の三世代の夫婦が同居している、吉田 勲さん（新屋）と斎藤修一さん（豊岩）のご家族が、完成したばかりの橋と一緒に歩いて渡りました。

なお、同バイパスでは四車線化工事が完了する7月下旬まで車線規制による工事を行いますので、走行には十分ご注意ください。

### 新城川（飯島―下新城 笠岡間）の浸水対策 工事が完了

**秋** 田市北部を流れる一級河川新城川・飯島―下新城笠岡間の河川改修工事が完了しました。

深刻な浸水被害を軽減するため、平成3年から行われてきた工事区間は、国道7号やJR奥羽本線の線路下を通る全長約2.4km。平成18年・19年には、度重なる浸水被害の影響を受けるなど、その工程は20年以上を費やしました。

5月28日には、地域のかたや工事関係者が出席し、記念式典などが行われ、待望の通水をみんなでお祝いしました。

## ひと言

### 動物に関わる仕事に 就きたいナ



羽川由莉さん（左）と渡部千乃さん…大森山動物園名誉園長・高木美保さんの講演会に参加（5月16日）

羽川さん：学校に貼っていた講演会のポスターを見て、2人で参加しました。動物の美容などを手がけるトリマーをめざしています。

渡部さん：命の大切さを感じる講演会でした。将来、動物の看護師をめざしています。

### マップを手に、泉・手形 地区でいろいろ発見♪



鈴木朋子さん…泉・手形地区の文化財マップを使ったまちあるきに参加（5月23日）

マップのイラストと実物を見比べながら散策しました。まちなかにはお寺や史跡以外にも、道端の石碑や民家の軒先のほこらなど、歴史を物語る物がたくさんあることに気づきました。改修中で骨組みだけになった如斯亭を見学できたのはラッキーでした。

# 広報クイズ No.274



広報クイズは、毎月第3金曜日発行号に掲載しています。正解したかたの中から抽選で10人に図書カード1,000円分を差し上げます。

広報あきたや市政テレビ番組の感想などを添えて、ご応募ください。

**Q1** 北前船が縁で●●市と交流提携しました。●に入る文字は？

**Q2** 秋田市プレミアム付き商品券。夏期分の発行はいつから？

\* 答えは広報あきた6月5日号・19日号の記事中から探してね♪

## 応募方法

はがき、FAX、Eメールに、「広報クイズ」と明記し、答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、6月29日(月)(必着)まで、〒010-8560 秋田市役所広報広聴課 FAX(866)2287

Eメール ro-plpb@city.akita.akita.jp

\* 採用された際、氏名の掲載を希望しなかつた場合は、ペンネームも忘れずにお書き添えください。

## 5月15日号の当選者(敬称略)

前回のクイズの答え

Q1=5月「27」日 Q2=マイナちゃん

当選者▶安藤悦子(牛島)、一路(泉)、柏谷宏暁(大住)、勝平山(新屋)、カモシカ(外旭川)、ゴシちゃん(南通)、佐藤絵利子(八橋)、佐藤洋太郎(濁川)、ラッキー(広面)、りよつたこ(川元)

\* 応募総数140件の内、正解は138件。



市庁舎2階の正庁で

担当から

あの大震災から4年3か月、秋田市で開催された5回目の東北六魂祭。東北6市の華やかな祭りに、踊る人も見る人も燃え上がり一つとなりました。「あの日を決して忘れず、復興を進めよう」。熱い一体感の中にみんなの祈りと希望を感じました(杏子)

# ちょっと一息 読者の伝言板



●6月は環境月間、当たり前前に使っている水道水。いつでも蛇口をひねると出てくるありがたさ、改めて感じました(らいちやんばくば 38歳・仁井田)

●大森山動物園・名誉園長の高木美保さんの講演を聞きに行きました。「すべてのものの命はみんな同等で大切なもの」、涙を拭きながら話す高木さんのお話に感動しました (あけやん 53歳・八橋)

●旧友3人で千秋公園のつつじ見に行きました。新緑とのコントラストが最高でした。紅葉もきれいだということで、秋も訪れることを約束して散会しました(やまぼうし 73歳・山王)

●花粉症なので冬から春にかけ、家にももっていたためすっかり太ってしまいました。痩せるために毎日20分ジョギングしています (山王じい 59歳・山王)

●母の日にカーネーションと一緒に、折り紙で作った花もプレゼントしました。久しぶりの折り紙に苦戦しましたが、幼稚園の頃に迎えるバスが来る直前まで折っていたことを思い出

し、改めてここまで育ててもらった事に感謝の気持ちでいっぱいになりました(ビーグルのカツオ 42歳・旭南)

●25年ぶりに秋田市に帰ってきました！街並みは変わってしまいました！街並みを残す所もありません。もつとじつくり市内を見たくなり自転車を購入し、天気の良い日はサイクリングがてら街並みを観察。車では気付かない小さな発見もあり、嬉しくなります。千秋公園に行ったり、なかいちに行ったり、その場所ですごくとした気持ちになる自分があります。改めて秋田市ってステキって思えます (ピンク 47歳・茨島)



## 草加市民が再現 佐竹氏の大名列

地元の佐竹史探訪の会(主宰・土居輝雄さん)との交流が縁で、埼玉県草加市から、「今様・草加宿」市民推進会議などのメンバー4人(正写真)が秋田市を訪れ、佐竹史料館などを見学しました。

草加市は、藩政時代に宿場町として栄え、毎年秋に「草加宿まつり」を開催。来年は、当時の佐竹氏の大名列をまつりで再現すべく、準備を進めているそうです。協議会の中島清治さんは、「祭りを通じ、草加のみなさんにも秋田を身近に感じて欲しい」と話していました。